

次世代に向けた内部監査セミナー

～ 生成 AI を活用した内部監査の高度化 ～

主催 有限責任監査法人トーマツ

近年、地域紛争やインフレの進展等によりグローバル経済環境は激変しており、また、企業内部においても DX・GX や人材不足等の経営アジェンダへの対応が不可避となっており、企業を取り巻くリスクは多様化・複雑化しています。そのような中で、内部監査部門には、限られた人員・時間で監査品質を維持・向上させつつ、経営に資する示唆をタイムリーに提供することが一層求められています。これに対する有望な打ち手のひとつが AI の活用です。

そこで、本セミナーでは「生成 AI を内部監査業務にどう組み込み、効果を最大化するか」「内部監査の品質と効率性を両立させるために AI をどう活用するか」をテーマに、実務で使える具体策を中心に解説します。生成 AI の最新動向に加え、監査計画、リスクアセスメント、インタビュー・調書作成、監査報告、フォローアップといった内部監査の各プロセスでの活用ポイント、導入時に避けるべき落とし穴(情報漏えい、ハルシネーション、権限管理の不備等)を整理し、内部監査としての“使いどころ”をご説明します。

当日は、生成 AI を活用した業務イメージのデモンストレーションやケーススタディを交えながら、明日から試せる運用設計・ルール整備の勘どころまで分かりやすくご紹介します。あわせて、参加者の皆様の課題感に応じて質疑・意見交換や個別相談の場を提供し、現場での実装に向けた第一歩をサポートいたします。

ご多用とは存じますが、是非この機会にご参加下さいますようご案内申し上げます。

- 開催日時 2026年7月10日(金) 14:00～17:00 (受付開始:13:30)
- 会場 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所
〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-1-1 淀屋橋三井ビルディング 9F セミナールーム
- 対象者 内部監査部門・リスク管理部門の責任者様・担当者様
- 定員 50名 (定員に達し次第、締め切ります)
同業他社の方、および個人の方のお申込はお断りさせていただく場合がございます。
- 受講料 無料
- 申込方法 Web サイト(<https://tohmatu.smartseminar.jp/public/seminar/view/68067/>)
QRコードよりお申し込みください。

本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。ご回答いただく内容は、SSL 暗号化通信により内容の保護を図っております。

お申し込みは1名様ずつのご登録が必要となります。

過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申し込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みの ID・パスワードでお申し込みいただけます。

受講者の方へは、セミナー開催1週間前を目安に受講票のご案内メールをお送りいたします。

当日は受講票と名刺をお持ちの上、ご来場下さい。





■ スケジュール

開催時間	内容	講師
前半の部		
14:00 ~ 14:05	ご挨拶	有限責任監査法人トーマツ パートナー 立野 睦
14:05 ~ 15:20	<p>生成 AI を活用した内部監査</p> <p>生成 AI は、内部監査のさまざまな業務で活用でき、内部監査の進め方や役割を大きく変える可能性があります。</p> <p>その一方で、内部監査部門には、生成 AI の利用に伴うリスクを把握し、当該リスクに対応した内部監査手続きを実施することも求められます。本セッションでは、生成 AI の利用に伴うリスク対応に加え、内部監査での具体的な活用方法について、デモを交えながら分かりやすく解説します。例えば、人手不足への対応、監査対象拠点に対する知識不足の補完、担当者ごとの監査経験差の解消、監査品質の向上といった場面で、どのように生成 AI を活用できるのかを解説します。</p>	有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 吉野 清隆
15:20 ~ 15:30	休憩	
後半の部		
15:30 ~ 16:30	<p>AI エージェントを活用した内部監査</p> <p>AI エージェントの活用により、内部監査業務の効率化に加え、高度化(品質向上)が期待されます。具体的には、リスク評価や不正リスクの検知といった監査計画業務に加え、規程・ルール類のレビュー、監査手続の実施、監査調書・監査報告書ドラフトの作成など、フィールドワークからクロージングまで幅広く活用可能です。また、内部監査プロセス全体で AI を活用することで品質を担保しつつ効率性を高め、監査担当者のリソースをテーマ監査などの非定型業務(人にしかできない業務)へシフトすることも可能になります。</p> <p>本セッションでは、具体的にどのような場面でどのように AI を活用しているのかを、事例およびデモンストレーションを交えて解説します。</p>	有限責任監査法人トーマツ マネージングディレクター 金子 恵理
16:30 ~ 16:35	締めのご挨拶	有限責任監査法人トーマツ パートナー 赤木 秀光
16:35 ~ 17:00	<p>内部監査の在り方に関する個別相談会</p> <p>内部監査に関するアドバイザー経験を持つトーマツの専門家が、他社事例のご紹介も交えながら、内部監査の高度化や AI 利活用について個別にご相談を承ります。</p> <p>無料で実施いたしますので、ぜひこの機会をご利用ください。</p>	有限責任監査法人トーマツ

講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講師プロフィール

講師	プロフィール
 <p data-bbox="371 333 711 418">有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 吉野 清隆</p>	<p data-bbox="751 248 1474 342">製薬業、製造業、商社、建築業、航空業等の会計監査に加えて、DX 推進支援、PMO 支援、不正調査、内部統制改善、内部監査実行支援、会計基準変更対応業務などに従事。</p> <p data-bbox="751 342 1485 436">法人内のデジタル人材(アナリティクス高度化・DX 推進)育成プロジェクトの企画・立上・推進を担当し、全国で 900 名以上のデジタル人材育成を実施。</p> <p data-bbox="751 436 1477 501">公認会計士、公認情報システム監査人、日本公認会計士協会近畿会 IT 委員会委員長</p>
 <p data-bbox="371 611 724 748">有限責任監査法人トーマツ マネージングディレクター 金子 恵理</p>	<p data-bbox="751 584 1474 741">大手監査法人アドバイザー事業部を経て現職。製薬業、製造業、小売業、商社等を中心とした国内・外資クライアントに対するクロスボーダーの内部監査・内部統制のアウトソース・コソース、内部統制構築・評価業務、委託先調査、ロイヤリティ調査、リスクマネジメント、ガバナンス、コンプライアンス関連業務に従事。</p> <p data-bbox="751 741 1461 772">米国イリノイ州公認会計士、公認内部監査人、公認不正検査士</p>

- **会場**
 有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所
 〒541-0042
 大阪市中央区今橋 4-1-1
 淀屋橋三井ビルディング 9F セミナールーム
 (地下鉄御堂筋線淀屋橋駅 10 番出口直結)

<アクセス>

- ・ 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 10 番出口直結
- ・ 京阪本線「淀屋橋」駅 3 番出口から徒歩 1 分
- ・ 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-A 出口から 6 分



- **問い合わせ先**
 有限責任監査法人トーマツ 関西セミナー事務局
 〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-1-1 淀屋橋三井ビルディング
 email: kansai_seminar_jimukyoku@tohatsu.co.jp

Web よりお申し込みができない場合は、セミナー事務局までご連絡ください。

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツ グループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ 合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ税理士法人および DT 弁護士法人を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内 30 都市以上に 2 万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツグループ Web サイト、www.deloitte.com/jp をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（「Deloitte Global」）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して「デロイトネットワーク」）のひとつまたは複数を指し、Deloitte Global ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。Deloitte Global およびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Global はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Global のメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約 9 割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来 180 年の歴史を有し、150 を超える国・地域にわたって活動を展開しています。「Making an impact that matters」をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約 46 万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.com をご覧ください。

Member of
 Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2026. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

